

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築環境総合性能評価システムマニュアル2016 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|--|--------|-----------------|
| 建物名称 | (仮称)東区東桜2丁目903番1マンション | 階数 | 地上14F |
| 建設地 | 名古屋市東区東桜2丁目903番1 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 商業地域、準防火地域、緑化地域、特定用途誘導地区、駐車場整備地区、都市機能誘導区域、居住誘導区域 | 平均居住人員 | 104 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | |
| 竣工年 | 2022年3月 予定 | 評価の実施日 | 2020年10月30日 |
| 敷地面積 | 407 m ² | 作成者 | |
| 建築面積 | 217 m ² | 確認日 | 2020年10月30日 |
| 延床面積 | 2,586 m ² | 確認者 | |

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

| 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | 2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート) | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート) |
|---|---|----------------------|
| <p>= BEE1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> | <p>標準計算</p> <p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p> | |

| 2-4 中項目の評価(バーチャート) | | |
|--------------------------------------|---|--|
| <p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.0</p> | | |
| <p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2</p> | <p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7</p> |
| <p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.0</p> | | |
| <p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.1</p> | <p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7</p> | <p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2</p> |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|--|--|
| <p>総合 道路面に緑地を設け、周辺環境、及び街並みに配慮した。</p> | <p>その他</p> | |
| <p>Q1 室内環境 住戸にはT-2サッシを採用した。</p> | <p>Q2 サービス性能 共用部はバリアフリーとした。</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内) 道路面に緑地を設けた。</p> |
| <p>LR1 エネルギー 共用部の照明は蛍光灯を採用した。</p> | <p>LR2 資源・マテリアル F☆☆☆☆材料を採用した。外壁は耐久性に優れた磁器質タイルを採用した。</p> | <p>LR3 敷地外環境 駐車場、駐輪場を適切に設置した。ごみ置場は扉付とし、周囲はフェンスで囲い周辺環境に配慮した。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



重点項目スコア・結果シート

(仮称)東区東桜2丁目903番1マンション

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
 ■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

| 重点項目 | | 評価 | 全体に対する重み係数 | 重点項目スコア |
|----------|-----------------|---------------|------------|---------|
| 1. 温暖化対策 | | | | 3.2 |
| LR1 | エネルギー | 3.1 | 0.4 | |
| LR3.1 | 地球温暖化への配慮 | 3.6 | 0.1 | |
| LR3.2.2 | 温熱環境悪化の改善 | 3.0 | 0.05 | |
| 2. 自然共生 | | | | 2.3 |
| Q3.1 | 生物環境の保全と創出 | 2.0 | 0.09 | |
| Q3.3.1 | 地域性への配慮、快適性の向上 | 地域性のある材料の使用※1 | 無 | 0.009 |
| Q3.2 | まちなみ・景観への配慮 | | | |
| Q3.3.2 | 敷地内温熱環境の向上 | 3.0 | 0.045 | |
| 3. 循環型社会 | | | | 2.7 |
| LR2.1 | 水資源保護 | 3.0 | 0.06 | |
| LR2.2 | 非再生性資源の使用量削減 | 2.6 | 0.18 | |
| LR3.2.3 | 地域インフラへの負荷抑制 ※2 | 3.0 | 0.01875 | |

結果

| | | |
|----------|-----------|--|
| 1. 温暖化対策 | 評価点 = 3.2 |  |
| 2. 自然共生 | 評価点 = 2.3 |  |
| 3. 循環型社会 | 評価点 = 2.7 |  |

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。